

2020年7月2日、パリ

アジア企業の支払調査 2020: COVID-19 が昨年持ち直し始めた動きを覆す

米中間の貿易摩擦一色だった 2019 年が過ぎ、コファスはサプライチェーンの移行と米連邦準備銀行からの流動性の追加により、アジア(中国を除く)において経済活動が持ち直し始めているのを確認した。平均支払期間は 2019 年に改善し、2018 年の 69 日から 67 日へと短縮された。2019 年には(2018 年の 63%と比べて)65%の企業が支払い遅延を報告しているが、平均支払い期間は 2018 年の 88 日から 2019 年には 85 日に短縮された。

しかし、この回復傾向は長くは続かないだろう。COVID-19 のパンデミックが成長予測にとって深刻な脅威となっており、アジアの多くの国・地域が、1997 年から 1998 年にかけてのアジア金融危機以来最大の景気後退に見舞われるものと予想される。

GDP 加重ベースでは、アジア経済の成長率は 2020 年には 0.3%(中国を除いた場合は-0.65%)に下落する。これは、2019 年の成長率 4.6%と対照的であり、あの 1998 年でさえもこれよりは高く、2.9%(中国を除いた場合は 0.76%)だった。

支払い期間や支払い遅延は国・地域によって大きく異なる

2019 年には、2015 年以來となる平均支払期間の改善が見られた。支払期間が最も長いのは日本(91 日)、中国(86 日)及び台湾(72 日)であり、調査対象となったアジアのこれ以外の国においては支払期間はすべて平均を下回った。逆に短いのはオーストラリアで、36 日間となっている。

支払い遅延が最も長いのは中国(96 日)、マレーシア(84 日)、及びシンガポール(71 日)である。2017 年以降、支払い遅延はタイ(7 日増えて 69 日)、マレーシア及び台湾(いずれも 2 日増えて 67 日)で増加している。

回答者の多く(48%)が、支払い遅延増加の主要因として取引先の資金難を挙げている。これらの資金難の原因は主として、競争の激化による利幅の縮小(41%)及び資金源不足(22%)となっている。

状況はセクターによって対照的であり、エネルギー、ICT 及び建設が苦戦

平均支払期間はエネルギー、情報・通信技術(ICT)及び建設の各セクターで最も長く、支払期間が 120 日を超える回答企業の割合が 20%を超える。

支払い遅延が最も長いのもこれらの同じセクターであり、それぞれ 24%、28%及び 26%の回答企業が 120 日を超える支払い遅延を報告している。

超長期の支払い遅延の調査では、地域やセクターによってキャッシュフローの悪化のリスクが示されている。

支払い遅延とキャッシュフローリスクとは、密接に関連していることが多い。キャッシュフローリスクを評価するため、コファスでは超長期(180 日以上)の支払遅延の割合を調査している。これらの超長期支払遅延が年間売上高の 2%超を占めるようになると、企業のキャッシュフローにリスクが生じている可能性がある。コファスの経験では、全世界で超長期(180 日以上)の支払遅延の 80%が、結局最後まで支払われないままになっている。

調査対象となったアジア企業のうち、超長期支払遅延が年間売上高年間売上高の 2%を超える企業の割合は、2018 年の 38%から 2019 年には 31%へと下がっている。しかしより細かく見ていくと、この「回復」は一面的には捉えられないことがわかる。超長期支払遅延が年間売上高の 10%を超える企業の割合は、2019 年も変わっていない(13%)。

中国を除き、超長期の支払い遅延が年間売上高の 10%を超える企業の割合が最も大きいのはマレーシア(7%)、シンガポール(7%)及びタイ(6%)である。同様に、超長期支払遅延が年間売上高の 10%を超える例を報告している国の割合が最も多いのは、運輸、エネルギー、及び建設の各セクターである。

2020 年は、1997 年から 1998 年にかけてのアジア金融危機以来最悪の景気後退となるだろう。

コファスでは、アジア太平洋地域(調査対象となった 9 カ国のうち中国及びインドを除く)の経済は 2020 年には急激に縮小した後、2021 年には反動で回復すると予想している。観光産業と世界貿易の減速により、GDP の縮小はタイ(-5.0%)、香港(-4.0%)、シンガポール(-3.5%)、日本(-3.0%)、マレーシア(-2.0%)、及びオーストラリア(-1.9%)で顕著に見られることになるだろう。

コファスの予測では、GDP 成長率は 2021 年まで回復せず、2021 年には反動で 6.2%(中国を除いた場合は 4.65%)に達するだろう。

連絡先:

ジョナタン・ペRez - Tel. 03 5402 6108 – jonathan.perez@coface.com

Coface: for trade –共にビジネスを構築

70 年の経験と最も幅広い地域のネットワークを持つことにより、コファスは取引信用保険及び提供している補足サービス(ファクタリング、スペシャルリスク、ボンドと信用情報)という分野において、世界有数のエキスパートとなっています。

100 カ国の国際ネットワークを通じて、コファスの専門家たちは世界経済の動きを常に分析しながら、50,000 社の顧客事業の成功と成長、活性化のサポートを行っています。コファスグループのサービスとソリューションは、国内及び輸出市場で販売能力を向上するための与信判断のサポートと売掛債権の保全を含みます。2019 年にはコファスの従業員は 4250 名となり連結売上高は 15 億ユーロとなりました。

www.coface.jp

コファス SA はユーロネクスト証券市場の A 部にて上場しています
ISINコード: FR0010667147 / ティッカーシンボル: COFA

